
前略。俺の嫁が貞子な件。

半ライス大盛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

前略。俺の嫁が貞子な件。

【Nコード】

N2006P

【作者名】

半ライス大盛

【あらすじ】

ある日、俺ん家に貞子が来ました…

そして…

俺と貞子とときどきラーメン（前書き）

実はモバゲーでも書いてます（笑

いろんな作品に影響を受けていますw

俺と貞子とときどきラーメン

不意に携帯が鳴った。
メールらしい。

…何故か画面を見ると、貞子と書いてある。

「なんの嫌がらせですかコンチクショウ！」

メールを開くと…

件名 背後なう。

本文

今、背後に行きます。

思わず吹いてしまった。

駄目だこいつ…早くなんとかしないと…

背後なうってさあ…

てか絶対【今、いに行きます】だろ！

つか今から来るんかい！

背後なうちやうやん！

「セルフツッコミって痛いな…」

と、そこで家のインターホンがなった。

「はい…」

俺が玄関のドアを開けるとそこには…

「あ、どうも、私貞子という者なのですが…」

…

思わずドアを閉めてしまう俺。

笑っちゃだめだ笑っちゃだめだ笑っちゃだめだ笑っちゃだめだ！（シ ジ君風に）

なんだこいつ…

超オモシレーーーー！！！！

貞子（あの～）

また、ドアを開けてみる。

作者「はい…ククッなんですか？ククッ」

貞子「先ほどメールさせていただいた貞子と申します。それでは早速、背後に立つてもよろしいでしょ（ry」

またまたドアを閉める俺。

落ち着け俺、

真子可愛いってびしょ。

やばいよ？

（あの…）

またドアを開ける。

「なんすか？」

「いや、だから、その…」

キャワウイイイイイ！……！！

「何？（怒）」

「うつうつう（汗＋涙目×上目遣い）」

急所に当たった。

俺（の理性に）9999のダメージ。

俺（の理性）はたおれた。

俺の攻撃

告る 殴る

犯S（ry ボルシチーノ

決定

つか最後のボルシチーノってなんだ最後のボルシチーノって料理ですかこのやろう。

「付き合って下さひっ!!」

何言っているんだ俺は…て…え？

俺の声じゃない…？

「いちちらいぞ。」

ナンデコウナッタ。。

…
よく見ると…

貞子むっちゃ美人だし…

スタイルいいし。

!!
いかん!

俺のY染色体が反応している!
もちつけ俺のリヴァイアサン(海綿体)!!

つか…本当に…
ナンデコウナッタ…

確か…貞子が朝テレビ見てて…

)

…

（いや、ラーメンで美味しいですね…）

「…ジュルリ」

あれから貞子は何故かうちに居座っている。
といっても昨日からだが。

「…美味しそう……」

「喰いたいのか？」

…コクリ

顎を少し引く程度のサイン。

いや、でも服も血だらけだしな…

その前に風呂だな。

「ちょっと待ってて」

「ん…わかった。」

風呂をわけせないとな…

「って今ガス止められてるうううう！…！」

銭湯にするか…

「パソコンはっ」と

カタカタ

検索ワード

銭湯 混浴

…

OK。

「貞子ーいくぞー。」

「ん。」

電車で揺られること2時間

の後バスで3時間

歩き1時間

うちの風呂よりは少し広いな、うん。

まあ100円だし。

なんかおじさんがいるし。

「入ってこいよ。待ってるから。」

ギョ

「ん？」

プルプル

「…うっううう（泣）」

「どした？」

「お水…怖い…」

で、冒頭に戻って

そろそろあがろうか？

じゃないと俺の理性に問題がね…

「はい…」

着替え完了。

あ、因みに貞子には俺の服で我慢してもらってる。

GパンにTシャツ、Tシャツの上に一枚羽織らせて、頭には帽子。

足長いな。

足フェチの僕としてはたまらんですたい。

「あまり見ないで下さい…」

「あ…ごめん…」

今度、服買ってやるつ。

メイド服とか。

来た道に戻っていき、地元に着。

「じゃ、ラーメン喰いに行くか？」

ブンブン

いや、そんなに頭振らんでも…

じゃあ百歩ラーメン…高いな。今582円しかない…

娘々にしよう。

安いし旨いし。

ども

「貞子何でもいい？」

「ん。」

「じゃあスタミナ2つと餃子1つお願いします。」

「デートかい？」

話かけてきたのは娘々の方。実は覚えてる俺。

「ちがいますよ（笑）」

「そうです。」

…

「…頑張れよ……？」

「はあ……」

「気まずいよ？」

「なにこれ！」

「孔明の罠？」

「水飲むか？」

「ポッ」

ポッてなんだよいきなりデレ期ですか？

ツンが無いと意味ないだろうがあああ！！

「
…」

「はい、水」

「ありがとう…」

あれ？戻ってる？

それはそれで寂しいな…

奇跡だ…

ポケットに1000円札が！

いや、乗りで注文したら実は足りなかったんだよね。

…
これ、今月分の食費だけど…

「はい、おまち」

「ありがとうございます。」

「どうも」

ズズー

「美味しい…」

完食

「旨かったか？」

「ん。またくる。」

「…そうだな……」

金があれば。

貞子が可愛い
ただそれだけの話でした。

俺と貞子とときどきラーメン（後書き）

とくに無いよね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2006p/>

前略。俺の嫁が貞子な件。

2010年11月29日00時33分発行